

タイ水文農業情報学研究所の所長が当研究所を訪問されました(2017/1/31-2/1)

テーマ：水災害・防災に関する研究
場所：災害科学国際研究所，仙台市

2018年1月31日～2月2日，タイ水文農業情報学研究所の所長 Weesakul Sutat 博士が東北大学を訪問されました。Weesakul 所長は元々タイにあるアジア工科大学院（AIT）の教員で，タイでは有名な水文学，水災害の研究者の一人です。水系の研究分野において東北大学とAITは長年，教員・研究者の交流を実施しています。

1月31日（水）に災害科学国際研究所を訪問され，当研究所の今村文彦所長とサップシー・アナワット准教授（災害リスク研究部門）が意見交換の場を設定し，両国に発生した最近の水災害・対策，国際的な共同研究・情報発信等について議論しました。2月2日（金）には，サップシー准教授が仙台市の津波被災地「中野5丁目の津波避難タワー」「旧荒浜小学校」「荒浜海岸」をご案内しました。被災地巡検中に，東日本大震災当時の被害状況や緊急対応，復興，防災対策について話し合う機会がありました。Weesakul 所長は，東日本大震災の教訓をタイで活かすために，今回の訪問は大変参考になったとおっしゃっていました。



津波工学研究分野での意見交換会の様子



旧荒浜小学校での意見交換の様子

文責：サップシー アナワット（災害リスク研究部門）